２０１８年（平成３０年）６月５日　火曜日

デーリー東北　１３面　掲載

青森県高校総体

▷最終日◁

光星男子Ｖ２

光星女子決勝で涙

バスケットボール

【男子】
▽準決勝
弘前実 88－58 弘工大一
八学光星 73－66 八学光星
▽決勝
八学光星 66－64 弘前実
（21－12、16－20、16－18、13－14）
（八戸市東体育館）

【女子】
▽準決勝
柴田 73－57 弘前実
八学光星 76－64 弘学聖愛
▽決勝
柴田 64－52 八学光星
（16－25、8－10、16－16）
（柴田は4年連続15度目の優勝）
（八学光星は2年連続2度目の優勝）

好機逃さず終盤逆転

八学光星が2連覇の栄冠に輝いた。新人戦、春季大会で敗れた弘前実に対し、「リベンジを意識して練習してきた」と坂尻侑生主将。リードされた苦しい局面を乗り越えてつかんだ逆転勝利に、選手たちは抱き合って喜びを爆発させた。

「40分で試合をすること」を意識させたという佐々木彰彦コーチ。第3クオーター（Q）終了段階で7点差あったが、選手たちに焦りはなかった。

ハイライト

「リードされても最後に逆転すればいい」。佐々木コーチの言葉を信じて、反撃の機会を待ち続けた。

好機が訪れたのは第4Q残り7分。相手が疲れ、プレーの精細さを欠き始めたところを見逃さなかった。持ち味であるタフなディフェンスでボールを奪い、冷静にパスを回してゴールへ運んだ。

「困ったときはパスを回すぞ」とベンチでチームメイトに声を掛けられた蛯名隼大は、ゴール下で力強さを発揮。6点を追う場面から「最後は自分が決める」と3連続得点を決めて、同点に追い付き流れを変えた。

「全国大会につながる試合でリベンジできてうれしい」と晴れやかな表情を見せた坂尻。昨年のインターハイは1回戦で敗退しており、蛯名は「1戦ずつ確実に勝ち、先輩たちを越えたい」と力を込めた。（里村静）

【バスケットボール男子決勝・弘前実―八学光星】第4クオーター、光星は蛯名隼大（6）がシュートを決め、追い上げる＝八戸市東体育館

【バスケットボール女子決勝・柴田―八学光星】第3クオーター、光星は関口由佳（4）がシュートを決め、リードを広げる

第4Qで女王に屈す

○…前半相手をロースコアに抑え、終盤に勝負を決める作戦で挑んだ光星。県高総体3連覇の柴田と接戦を繰り広げたが、第4クォーター（Q）で〝女王〟の力に屈した。

第3Qまではプラン通り、点を取られたら取り返す展開。主将関口由佳らを中心に内外からゴールを狙い、一時は7点をリードする場面も。しかし3点差で迎えた第4Qは開始直後から相手にペースを持って行かれ、大量得点を許した。

「格上の相手に粘って試合ができた点は良かった」と振り返った関口。「悔しさは次にぶつける」と、東北大会とウィンターカップに向けて前を見据えた。

佐々木（八戸西）男子頂点

テニス

（新幹線総合運動公園テニスコート）

【男子】
◇シングルス▽準々決勝
明本 6－3 川上（八戸西）
柴田（弘前） 6－1 菊池（五所川原）
佐々木（八戸西） 6－0 成田（弘前工）
遠沢 6－3 竹谷（五所川原）
▽準決勝
柴田（弘前） 8－3 明本
佐々木（八戸西） 8－3 遠沢
▽3位決定戦
明本 6－6 遠沢（棄権）
▽決勝
佐々木 9－7 柴田

【女子】
◇ダブルス▽決勝
横山・新川（弘前） 9－7 毛内・鈴木（青森南）
◇シングルス▽準々決勝
加藤あ 6－1 鈴木（青森西）
下山 6－3 新川（青森南）
横山（東義） 6－2 天羽（弘前）
加藤萌（弘前） 6－1 立石（八戸西）
▽準決勝
加藤あ 8－6 下山（青森西）
横山 8－0 加藤萌（青森）
▽3位決定戦
下山 8－3 加藤萌
▽決勝
加藤あ 8－5 横山
▽第2代表決定戦
横山 8－2 下山

デーリー東北新聞社提供